

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。

組織・グループ名	ユッカの会 多文化高齢社会ネットワークかながわ (TKNK)
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	① 一般助成 ② 協働モデル助成 〔地域住民・関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動〕
助成事業名	かながわ多文化高齢社会ネットワークの検討/構築事業

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

多文化高齢社会ネットワークかながわ (TKNK)

▶ユッカの会の挑戦－ネットワーク団体の発足－

ボランティアグループユッカの会は、だれもが安心して暮らす地域を目指し、多文化の背景を持つみなさんと活動しています。令和2年に有志で勉強会を立ち上げ、メンバーの高齢化に伴う老齢期の幸せを考え始めたところ、市民のだれにも共通することが見えてきました。この勉強会を前身とし、令和3年度の協働モデル助成を得て多文化高齢社会ネットワークかながわ(TKNK)が動き始めました。市民・専門家・社協のメンバーによって構成されたTKNKは、ユッカの会が長年求めてきた「共助・公助」一体化の連携モデルのひとつの形です。

▶TKNKの理念と実践

TKNKは神奈川に暮らす多文化の背景を持つ人々と、言葉や文化、宗教の違いを超えて共に暮らしやすい地域づくりを目指します。そこでA.発信と学び、B.情報収集、C.多文化高齢社会調査の3つの事業の柱をたてました。



▶2021年度事業活動

A.発信と学び事業

発信と学び事業は、TKNKの発足を周知し、高齢社会における多文化共生の課題を発信し、共に学び、ネットワーク形成を目的として4つのプロジェクトに取り組みました。

①シンポジウム事業

9月 キックオフシンポジウム (オンライン開催)

「多文化高齢社会の現状と課題」をテーマに、朝倉美江さん(金城学院大学)による基調講演「日本における外国にルーツを持つ高齢者の歴史と現状について」の後、TKNKが目指すことについての発表をめぐり、参加者とディスカッションを行いました。

2月 2021年度事業報告会 (オンライン開催)

「外国につながるかながわの高齢者の生活」をテーマに、荻野剛史さん(東洋大学、TKNK専門家メンバー)の講演「県内の外国人高齢者の現状と課題」と事業報告を行いました。その後、8つのグループで交流し、活発な意見交換が展開されました。



2021年度報告会で記念撮影 (2022/2/23 オンライン開催)

②「やさしい日本語」講座事業

日本語は生活や地域ネットワークの基盤です。「やさしい日本語」は地域における日本語の役割と機能を学び、相手の立場に寄り添った分かりやすさという視点でことばを工夫する実践です。「みんなで育てるやさしい日本語」として年間9回の講座を行いました。

③県民講座事業

専門家や当事者を講師に招き、多文化共生社会における高齢事情を学ぶ事業です。今年度は2回開催しました。

8月講座「高齢期を迎えた在日コリアン高齢者の生活と支援の現状」湯浅利啓さん(介護支援専門員)

10月講座「外国につながる介護職員として働く場からの報告」講師：増尾和行さん(社会福祉法人職員)・趙海艶さん(介護職員)

④TKNKメンバー勉強会

メンバーの資質向上と事業取り組みに必要な理念や情報共有のための研鑽活動です。年間7回実施しました。①インタビュー調査の実施・分析の方法 ②～⑥文化圏と高齢者の背景や介護の考え方(在日コリアン、スペイン語圏、ブラジル、カンボジア) ⑦ケアマネさんと話す会

B.情報収集事業

外国人高齢者に関する社会福祉、介護、「やさしい日本語」などの文献、調査・先行研究についてデータベースを作成しています。将来は一般公開の予定です。

C.多文化高齢社会調査事業

的確な課題設定と事業開発に向けて、多文化高齢社会の現状を明らかにする当事者への面接調査を実施しています。

各国のキーパーソンの協力により今年度は、中国帰国者、スペイン語圏、在日コリアン、フィリピン人、総勢26名の聴き取りができました。貴重な語りから、介護保険

制度の理解、介護へのイメージ及び意識、介護が必要になったとき望むこと、終末期に向けての準備等、具体的な課題が浮かび上がっています。

▶次年度に向けて

1年間多くの学びを頂きました。ご協力くださった皆様に感謝し、来年度も各事業の一層の充実に努めます。

今後ともTKNKをどうぞよろしくお願いたします。

どうぞよろしくお願いたします

すべての人が自分らしく
歳を重ねていくことができる地域づくりに
いっしょに取り組まいませんか？